



TITLE:

さんぢかりずむ概論(三、完)

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

---

CITATION:

河田, 嗣郎. さんぢかりずむ概論(三、完). 經濟論叢 1918, 7(4): 497-512

ISSUE DATE:

1918-10

URL:

<https://doi.org/10.14989/127443>

RIGHT:

## さんぢかりずむ概論 (三、完)

河田 嗣 郎

### (三) さんぢかりずむノ所期ト任務

さんぢかりずむハ前述ノ如キ理論ノ基礎ノ上ニ立ツモノナレバ、將來ノ社會組織ニ於テハ全然政治的ナル國家組織ヲ排斥シ、唯一ノ統治的組織ハ生産及ビ分配ノ上ニ關シテノミ存シ、然カモシハ勞働者自身ニ依リテ直接ニ管理セラルルモノデナケレバナラスト期待スル。然シ乍ラ其ノ組織ヲ如何ニシ之ニ必要ナル制度ヲ如何ニ建設ス可キカ、又其ノ産業的統治ノ行ハルル理想的状态ニ到達ス可キ行キ道ニ就キテハさんぢかりずむノ間ニ於テ必ズシモ十分ナル意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ヌ。さんぢかりずむノ本家本元タル佛蘭西ニ在リテモ普通ニ行ハルル見解ハ唯ダ政治的ナル國家組織ノ代リニ勞働組合サンダカヲ以テ成レル組織ニ依ル行政ノ行ハル可シト云フニ過ギヌ。即チ勞働者ノ組合團體ハ現時ニ在リテハ此ノ目的ノ爲メニスル社會戰爭上ノ最モ有力ナル機關ナリトセラレ、將來ノ社會組織ノ下ニ於テハ總テシテ又經濟的ナル一切ノ行政ノ擔當者ナリトセラルルノデアル。從テ Edouard Berth 氏 ヲ Emile Pouget 氏 ナドノ述ブル所ヲ見レバ、人ヲシテ轉ロニ

中世<sup>ギルド</sup>ノ組合制度ノ復活ヲ思ハシムル次第デアル。

洵ニさんちかりすむノ人々ノ期待スル所ニ從ヘバ一朝革命ノ業成ルニ於テハ輒チ茲ニ勞働者ノ爲メニ勞働者ニ依リテ造ラレタル新シキ社會組織ノ出來上リ、現存ノアラユル財産ハ社會ノ有ニ歸シ私有財産制廢レテ共有財産制ノ行ハルルコトナリ、勞働者<sup>ワーカー</sup>ノ組合ハ社會組織ノ細胞トシテ多數ノ勞働組合集リテ又一ノ大イナル聯合組合ヲ造リ、生産分配ニ關スル一切ノ管理ヲ行ヒ、以テ十分ナル生産ト公平ナル分配トノ下ニ、人々ハ完備セル經濟生活ト幸福ニ且ツ安慰ナル社會生活ヲ營ムコトガ出來ルトスルノデアル。而シテ此ノさんちかりすむノ社會組織ニ於ケル骨子タル勞働組合ナルモノハ、唯ダ生産ニ與ハレル勞働者ノミニ依リテ造ラル可キモノトセラレ、生産ニ與ハラザルモノハ之ヲ排斥スルノデアルガ、苟モ生産ニ與ハル勞働者タル限リハ組合員タルヲ得可キモノトセラル。然シ乍ラ好ク諸多ノ人々ノ主張ヲ吟味シテ之ヲ攷フレバ、實際ニ於テ此等ノ勞働組合ハ勇敢ニシテ有爲ナル少數勞働者ノ團結デアツテ、謂ハバ選バレタル少數者ノ造レルモノタルニ過ギザル性質ヲ有シテ居ル。從テ此種ノ勞働組合ハ一ノ新タナル貴族政治ヲ造ルモノデアルケレドモ、此等ノ勞働組合ハ縱令少數者ノ團結ナリトハ云ヘ、社會革新ノ爲メニ鬭爭スルニ當リテハ、ソハ實ニ勞働者全體ノ名ニ於テ勞働者全體ノ利益ノ爲メニ之ヲ爲スモノタルヤ看過ス可カラザル點デアル。而シテ前述ノ如ク多數ノ勞働組合ハ集リテ又一ノ大組合ヲ形造ルモノト

セラルルノデアルガ、此ノ大組合ハ實際的ニ種々ノ方面ニ關スル種々ノ設備ヲ爲シ機關ヲ設ク可キモノトセラルル。其ノ機關ハ(一)勞働紹介、失業防止及ビ扶助等ノ如キ事ノ爲メニスル相互的設備(二)勞働者及ビ其ノ子弟ノ一般の教養ノ爲メニスル教育設備(三)勞働運動宣傳ノ爲メニスル傳道設備等ニ分類サル可キモノトセラレテアル。

斯ノ如クニシテさんちかりずむノ描ク將來ノ社會ニ於テハ何等ノ經濟的特權モ存在セズ、服從ヲ強ユル何等ノ政治的の制度モ存在セズ、何等ノ企業及ビ行政上ノ權威モ存在スル所ナク、生産ヲ爲セバ爲シ得ル人々ニシテ毫モ生産スル所ナク唯ダ消費ヲノミ之レ事トスルガ如キ者ハ最早存在スルコトナク、主人モ存セザレバ奴隸モ存セズ、總ヘテ人々ハ生産ヲ爲シ、總テハ總テノ爲メニ働キ、勞働ハ總ヘテノモノデナクテハナラヌ。カクテ十分ニ各個人ノ獨立ヲ尊重スル經濟的聯立組織ノ出來上リ、自由意思ニ依ル自由ナル生産者團結ノ形成セラレ、權威ノ行ハレズシテ各人ノ義務心ノ之ニ代ハレル自由ナル勞働場ノ設ケラレテ、勞働者ノ組合團體ハ自ラ主トナリテ生産ト分配トラ規律スルノデアル。而シテ各個人ノ關係ニ於テハ、アラユル強制ハ跡ヲ絶チ、唯ダ同情ノミ之レ行ハレテ、人間交際ノ基礎ノ定メラレ、各人ハ皆齊シク福祉ト自由トラ享受スルコトトナル可キモノトセラルル<sup>1)</sup>。

斯ク觀來ルニ於テハ輒チさんちかりずむノ人々ノ將來ニ期待スル新社會ハ無政府主義ノ人々ヤ

1) L. Brentano, a. a. O. S. 16 ff. F. Callaye, a. a. O. S. 19-31.

或派ノ社會主義ノ人々ノ描クゆゑとびあニ似タルモノデアル。ケレドモ同ジク描ク理想ヲうさんちかりずむノ描ク所ノモノハゆゑとびあトハ謂ハレナイ。之レハゆゑとびあニハアラズシテ Myth デアル。元來みゝすハ智のナルゆゑとびあトハ異ツテ居ル。みゝすハ意志ノ表現タレドモゆゑとびあハ理智の勞作ノ產物デアル。即チゆゑとびあハ理論家が事實ヲ觀察シ議論シタル後ニ於テ善ト惡トノ相對量ヲ比秤センガ爲メニ、現存ノ社會ト比較ス可ク造リ出ス一ノ模型タルニ外ナラス。然ルニみゝすガみゝすタル所以ハ其ガ論證ニ依リテ否認サル可カラズ、又其ノ不可能ナルコトガ經驗のニ立證サレ得可カラザル點ニ存スル。ぶらとーノ共和國ハソガ理智のニ論出サレタルモノナルガ故ニゆゑとびあデアル。之ニ反シテ唯ダ獨斷のニ主張サレタルモノノミガ獨リ能ク想像ト意志トニ影響ヲ與ヘ得ルノデアル。然ルニ眞ニ人ヲ動カシ得ルモノハ多クハ論證サレ能ハヌモノノミデアル。想像ハ其ノ結果ニ於テ積極的デアルガ理論ハ消極的デアル。

何レニシテモそゝれるヤ其他さんちかりずむノ人々ノ説ク所ハゆゑとびあニ似テ然カモ非ナルみゝすニ到着スルモノデアツテ、其ノ然ル所ニハさんちかりずむガ理論ニ乏シク、勞働者ノ理智ニ訴ヘ其ノ正シキ判斷ニ待タントスルヨリモ、寧ろ獨斷のニ其ノ想像ニ訴ヘ、端的ニ其ノ感情ヲ喚起シ、勞働者ヲ鼓舞シ之ニ熱誠ヲ與ヘテ以テ積極的行動ニ出デシメントスルさんちかりずむ本來ノ立場ニ存スル次第デアル。

此點ニ於テさんぢかりすむノ人々ト理性派ノ社會主義者ト呼ハルル所謂ゆーとびあんトハ其ノ立場ヲ異ニスルノデアルガ、尙ホ之ヲ實際的計畫ニ就キテ見ルモ、社會主義ノ將來ニ希望スル所ノ社會組織トさんぢかりすむノ希望スル所ノ組織トハ少カラズ其趣ヲ異ニスルノデアル。誠ニ其ノ主要ナル點ヲ上グレバ、社會主義者ハ中央集權的社會組織ヲ計畫スルモノナルニ反シテ、さんぢかりすむノ企畫スル所ハ多數ノ勞動組合ヲ基礎トシ其ノ分立ノ下ニ於ケル各個組合ノ自主權ヲ認ムルモノデアツテ分權的デアル。從テ社會主義者ハ管理上統治上ノ權威ヲ認ムルケレドモさんぢかりすむハ一切ノ權威ヲ認メナイノデアル。中央集權的ナルト然ラザルトハ組織ノ上テハ寔ニ重要ナル相違ト謂ハナケレバナラス。

併シソハ兎モ角トシテさんぢかりすむハ將來ニ新社會ノ建設ヲ企畫シ其爲メニ現社會組織ノ改造ヲ必要ナリトスルモノナレバ、<sup>サンザカ</sup>勞動組合ハ實ニ現在及ビ將來ニ涉ツテ大イナル種々ノ任務ヲ負フモノデアル。先ヅ勞動組合ノ現時ニ於ケル任務トシテハ一可能ナルアラユル手段ニ依リ資本主義ニ對シテ不斷ノ鬭爭ヲ行フコトト二勞動團體ノ各員ヲバ能ク將來ニ於ケル職務ト責任トニ堪エ得ルガ如クニ用意セシムル爲メニ之ヲ各方面ニ於テ教育スルコトニ存スルトセラルル。而シテ其ノ教育タルヤ頗ル多方面ニ涉リ、一般ニ社會問題特ニ社會組織ニ關スル智識ヲ授クルノ必要ナルト同時ニ、又進歩セル技術上ノ方法ニ於ケル産業上ノ教育ノ必要トセラレ又各勞動者ヲシテ個人

トシテノ各自ノ満足ノ爲メニ同時ニ又社會一般ノ向上ノ爲メニ勞働者ヲ常識的ニ教育スルコトモ必要ナリトセラルルノデアル。

次ニ將來ニ關スル勞働組合ノ任務トシテハ、(一)生産團體トシテ働クコト(二)生産ノ組織ヲ造リ消費ヲ整理シ又一般的ナル社會利益ヲ管理ス可キ勞働組合聯合團體ノ一員トシテ働クコト等ガ數ヘラルルノデアル。而シテ將來ノ新社會ニ於テハ勞働組合ハ種々ノ方面ニ就キテ産業ヲ管理ス可キモノナリトセラルルコトハ一九〇六年ノ協議會ニ於テモさんぢかりすとノ指導者タル地位ニ在ルC. G. T. (Confédération Générale du Travail) ニ依リテ明白ニ公認セラレタル所デアル<sup>2)</sup>。惟フニ政治的ナル國家ヲ廢除シテ産業的ナル統治ヲ行ヒ勞働者ノ手ニ依リテ一切ノ産業ヲ管理セムトスルノ考ハ決シテ新奇ナル考デハナイ。之ハ夙ニぶるゝどんヤおうゑん氏等ノ好ムテ唱道シタル所デアルカラ、此點ニ關シテハさんぢかりすむハぶるゝどにすむヤおうゑんにすむノ復活トモ見ルコトガ出來ルノデアル。

而シテ勞働組合ガ右等ノ重大ナル任務ヲ行フニ就ケテハ、さんぢかりすむハ唯ダ勞働者等ガ自己ノ力ニ依リテノミ行動ス可キヲ慫慂スル。勞働者階級自<sup>2)</sup>ノ力以外何物ニモ依頼ス可カラズ、中産階級ノ同情ヲモ頼ム可ラズ、唯ダ勞働者ハ勞働者トシテノミ互ニ相助ケ、以テ勞働者ガ支配スル社會ヲ造リ出サナケレバナラヌトスルノデアル。然リ而シテさんぢかりすむハ勞働者ガ此ヲ

2) J. Sargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism, P. 16ff

行ノニ就イテハ少數ノ自覺セル熱誠ナル勞働ノ組合團結ニ依リテ之ヲ行フ可シト爲スモノデアツテ、選バレタル少數者カ勞働者ノ大衆ヲ率キ之ヲ導キ之ヲ用ヒテ以テ事ヲ爲ス可シトスルノデア  
ル。サレバさんぢかりずむハ其ノ實行の運動ニ於テハ少數主義ヲ採ルモノデア  
ル。從テさんぢかりずむハ此點ニ於テモ所謂民主主義トハ其ノ立場ヲ異ニシ、民主主義ト云ノ詞ノ含有スル多數主義ヲ採ルモノデナイ。多數者ハ唯ダ少數ナル先覺者ノ指導ニ從フニ依リテ甫メテ能ク事ヲ爲シ得ルモノデ、其ノ指導ヲ缺グニ於テハ終ニ何事モ成就シ難ク、さんぢかりずむノ企望スルガ如キ深遠ノ意義ヲ有シ遠大ノ計畫ヲ要スル事業ガ、唯ダ多數ナル自覺心ナキ勞働者ノ烏合ニ依リテ行ハレ得キモノデハナイトセラルルノデア  
ル。唯ダ選バレタル少數ニ依リテ事ヲ始メ又事ヲ有シ然カモ之ヲ爲スニハ多數者ノ力ヲ籍リ又其ノ事業ノ効果ハ之ヲ多數者一般ニ及ボス可シトスルノガ其ノ立場デア  
ル。

洵ニさんぢかりずむハ主義ニ於テ少數主義ノモノナルト同時ニ現在ニ在リテハ其ノ所屬勞働組合ノ數モ少ク、又各組合ニ屬スル勞働者ノ數モ少ク、更ニハ又其ノ物質的基礎モ薄弱デア  
ル。而シテ其ノ行ハルハ既述ノ如ク佛蘭西、伊太利及西班牙ノ如キ拉典民族ノ國ヲ主トシ英吉利、北米合衆國及ビ獨逸ノ如キ國々ニ於テハ未ダ甚ダ不振ノ狀態ニ在ルノデア  
ルガ、其ノ何故ニ然ルカニ就キテハ色々ノ見解ガ行ハレテ居  
ル。或人ハ之レ即チ拉典民族ノ民族性ニ由ルモノデ、ソガ革



命的ニ進ミ少數主義ニ據リ又其ノ目的手段等ニ關シテ甚ダ空想的ニ傾ケルハ、實ニ其ノ民族性ノ然ラシムル所ナリトスル。此ノ事情ハ固ヨリ或程度迄ハ之ヲ認メナケレバナラヌノデアルガ、然シソレト共ニ重視ス可キ原因ハヤハリ此等ノ國々ニ於ケル産業ノ狀態ガ英米獨ノ如キニ比シテ甚シク後レテ居リ、後者ガ大工業のナルニ反シテ此等ノ國々ガ尙ホ小工業のナルガ爲メニ、其ノ勞動運動ノ如キモ亦大衆のナルヲ得ズシテ少數主義ヲ守ルノ外ナク、然カモ又其ノ團結ニハ組織乏シク其ノ物質的基礎ノ如キモ甚ダ貧弱ナル次第デアル。而シテさんちかりすむノ人々ハ其ノ團體ノ貧弱ニシテ實際運動上ニ於ケル基礎ノ薄弱ナルヲ知ルト雖トモ彼等ハ組織ニ缺グル所アリ又物質的手段ニ缺グル所アリトモ之ヲ補フテ足アル精神の活力ヲ有スルト云フコトヲ以テ強イテ自ラ慰メントシテ居ル。サレバ彼ノ少數主義ノ如キモ畢竟ハ實狀上已ムヲ得ザルヨリ來ル所モ少クナイノデアツテ主義トシテ之ヲ守ルト云フル所詮敗ケ吝ミタルニ外ナラヌトモ見ルコトガ出來ルノデアル。

兎モ角右ノ主義ノ下ニ於テさんちかりすむガ其ノ目的ヲ達シ任務ヲ果ス手段方法トシテハ所謂『直接行動』ヲ行ハントスルモノナルコト既述ノ通りデアルガ、之ハツマリ代表者ニ依リ又ハ第三者ヲ通シテ權利ノ主張、利益ノ要求ヲ爲スコトトク、勞動者自ラ自己階級ノ手ニ依リテ事情ノ改善ヲ行ヒ、自己直接ノ行動ニ依リテ社會革新ノ實ヲ擧ゲントスルモノタルニ外ナラヌ。而シテソ

ハ特ニ從來社會主義者ガ議會ニ代議士ヲ送り立法ノ手段ニ依リテ社會ノ改革ヲ行ハントスルモノニ對シテ大イナル意義ヲ有スルモノナルコト又前ニ一言セシガ如クデアル。然ルニ此ノ「直接行動」ナルモノハ由來人々ニ依リテ甚シク誤解サレタルヲ否ミ難イ。惟フニ其ノ誤解ハ此ノ詞ガ古クヨリ無政府主義者ノ所謂「行爲ノ宣傳」トシテ用ヒラレタルヨリ來ルモノデアツテ、ソハ直チニ暴行ヲ意味スルガ如クニ解セラルル恐ガアル。然シ乍ラさんぢかりすむニ於ケル直接行動ノ意味ハ今少シク廣汎ナルモノト解セナケレバナラス。ソハ成程暴行ヲモ含ミソシアリスム社會脅喝主義ヲ意味スルケレドモ更ニ其ノ以上ノ意味ヲ有ツテ居ル。即チ廣ク勞動者自身ニ依ル直接ノ行動ヲ意味スルデアツテ、立法ノ力其他國家ノ仲介ヲ要セザルモノハ總ベテ直接行動デアル。而シテ前ニ上グルガ如ク社會主義者ノ議會主義ニ對シテ立ツモノデアルカラ、其ノ意味ハ消極的ニハアンチパリアメンタリ非議會主義トナリ之ヲ意味スル場合ガ多イノデアル。サレバ直接行動ハ平和的ナルモノモ暴行的ナルモノモ合法的ナルモノモ、不法的ナルモノモ、總ベテヲ意味スル汎キ詞デアツテ、常ニ必然的ニ暴行ヲ伴フモノト解シテハナラス。

即チ然カク之ヲ解シテハナラヌケレドモ、然シさんぢかりすとハ暴行ヲ憎ミ之ヲ排斥スルモノニアラザルコトハ、同時ニ又忘レテハナラヌ所デアル。否寧ロさんぢかりすとハ暴行ヲ是認シ其ノ功德ヲ認ムルモノデアル。即チそゝれるノ如キモ暴行ハ勞動者ノ精神ヲ興奮セシメ其ノ勇

氣ヲ鼓舞シ大膽ナル革命運動ニ向ツテ突進スルヲ得セシムルモノトシテ之ヲ推奨スルノデアル。彼ハ現社會ノ沒落ヲ信ズル者タル所ヨリシテ、革命ニ依リテ勞働者ノ支配スル新社會組織ヲ造リ出サントスルモノナレバ、此ノ大事業ノ爲メニ勞働者ノ精神ヲ鞭撻シ其ノ士氣ヲ鼓舞スルヲ必要ト爲シ、又其ノ大事業ノ行ハルルガ爲メニモ直接的ニ暴行ヲ必要トスルノデアル。即チそゝれるハ所有者階級ガ益々資本主義的ニ傾キ勞働者階級ガ益々戰鬥的精神ニ充チ又其ノ革命ノ實力ニ關シテ自信ヲ有スレバ有スルホド、新社會ノ實現ニ對スル道程ハ益々以テ確乎タル可シト信ズルノデアル。

然シ此ノ革命ト云フコトニ就イテハ尙ホ多少考究ス可キモノガ遺ツテ居ルノデアツテ、之ニ關シテモ社會主義者トさんぢかりすとハ少カラズ見解ヲ異ニシ居ルヲ知ラナケレバナラス。社會主義者ノ理解スル革命ナルモノハ急激ナル又ハ緩和ナル手段ニ依リテ、經濟的基礎ノ變化ニ從ヒテ進ミ行ク社會ノ法律上並ビニ政治上ノ全組織ヲ變更セシムルコトデアル。(Marx, Kritik der Politischen Ökonomie)此ノ見解ニ從ヘバ從來抑壓セラレ掠奪セラレタル階級ガ其ノ階級ノ利益ニ合スルガ如クニ社會ノ組織ヲ變更ス可ク之ヲ用ヒンガ爲メニ、或力ヲ獲ントスル行動ハ總テ之ヲ革命的行動ト云フコトガ出來ル。其ノ變革ガ急激ナルト緩和ナルト突然ナルト除々ナルトハ問フ所デナイノデアル。而シテ元來社會ノ法律及ビ政治組織ヲ變更シ之ヲシテ經濟的基礎ノ變化ニ適

合セシメントスルコトハ廣ク行ハルル希望デアツテ、必ズシモ社會主義者ヤさんぢかりすとヲ待ツテ甫メテ懷カルル見解ヤ希望デハナイ。彼ノ社會改良論者ノ如キモ之ヲ希望スルモノデアル。唯ダ異ル所ハ社會改良論者ノ如キハ各階級間ノ利害衝突ナカラシメンガ爲メニ社會ノ法律上並ビニ政治上ノ組織ヲバ經濟狀態ノ變化ニ適合セシメントスルモノナルニ、社會主義者ニ至リテハ唯ダ階級間ノ利害衝突ニ依リテ此ノ適合ハ行ハル可シト爲ス點ニ存スル。次ニ社會主義者ハ革命ハ社會進化ノ理法ニ由リ立法ヤ行政ノ道ニ沿ヒテ徐々ニ行ハル可シト考フルニ反シテ、さんぢかりすとニ至リテハ革命ニ關シテハまるくす以前ノゆゑとびあ社會主義者例ヘバぶらんき一派ノ抱キシガ如キ見解ヲ持シ、一朝一夕ニシテ革命ハ成就セラル可シト爲スノデアル。然シ乍ラさんぢかりすとぶらんき一派社會主義者トノ間ニハ斯カル一朝一夕ナル革命ヲ行フ可キ手段ニ關シテ又少カラザル見解ノ相違ガアル。ぶらんき一派ノ人々ハ革命ヲ行ハンガ爲メニハ勞働者ハ一氣ニ立チテ在來ノ社會ヲ捕ヘ其ノ有スル諸種ノ機關ヲ占領シテ我物ト爲シ、政府ヤ軍隊ノ力ノ如キハ總テ之ヲ革命ノ用ニ轉用セントスルモノナルニ反シテ、さんぢかりとむノ人々ハ斯カル積極的行動ニ出デズ、彼ノ總同盟罷工ニ依リ、一時ニ社會ノ經濟活動ヲ休止セシメ社會ヲシテ爲スニ所ナカラシメ、勞働者ノ支配ヲ待ツノ外、社會存續ノ見途ナカラシメントスルモノデアル。唯ダ其ノ空想的ナルニ至ツテハ兩者共ニ相似タルモノデアル。

要スルニさんぢかりすむハ今尙ホ構成中ニ在リ發育中ニ在ルモノデ、未ダ決シテ完全ニ出來上リタルモノニアラザレバ、其ノ理論ノ甚ダ幼稚ナルガ如ク、其ノ運動モ亦甚ダ微力ナルモノデアル。從テ其ノ主張スル社會革命ノ如キモ聲ノ徒ラニ大ニシテ實際ハ尙ホ甚ダ實行力ナキモノデアル。唯ダ併シ乍ラ一事ノ忘ル可ラザルコトハ、ソガ常ニ勞働者ニ向ツテ或ル熱情ヲ吹キ込ミ其ノ元氣ヲ鼓舞シ、社會ノ悲慘ナル現狀ヲ離脱セシメンガ爲メ、現組織ト現制度トヲ覆シテ、新タナル自由ノ社會ヲ造リ出サンガ爲メニ、奮起ス可キヲ説キ常ニ傳道ヲ怠ラサルコト之デアル。其ノ思想ノ傾向ハ既述ノ如ク大體ニ於テ廢頽的ナリトハ云ヘ、兎モ角將來ノ爲メニ現狀打破ヲ主張シ、又革命ノ可能ヲ説キ其ノ方法ヲ教ヘテ、勞働者ニ其ノ實行ノ爲メニ立チテ戰フ可キ元氣ヲ振興セシメントスルコトハ看過シテハナラヌ所デアル。而シテ其ノ理論ハ淺薄ニシテ矛盾ニ滿チタリトモ、そーれるノ之ヲ表ハセルガ如ク一ノみーすトシテ勞働者ノ心火ヲ照シ實行ニ向ツテ爆發セシメントスルコトニ於テ大イニ意義ノ認ム可キアリ、又其ノ實際的效果ノ意外ニモ大ナルコトアル可キヲ思ハナクハナラヌ。さんぢかりすむノ恐ル可キ點ハ實ニ此所ニ存スル。

最後ニ少シクさんぢかりすむガ其ノ所謂『直接行動』トシテハ實際ハ果シテ如何ナル行動ニ出ヅルカト云フ點ニ就キテ致フルニ、之ニハ種々ノ行動ノ舉グ可キモノカアル。就中最モ著明ニシテ其ノ意義ト効果ノ大ナルモノハ彼ノ總同盟罷工デアル。此ノ以外ニ於テハ(一)さんぢかりノ承認シ

推薦スル商品ニハ一定ノ記號ヲ附シ、之ヲ備ヘタル貨物ニアラザレバ購買セズ又一切其ノ取扱ヲ爲サザルガ如キ方法ニ依リテ勞動者ガ消費者トシテ有スル實力ヲ示サントスル記號法ヤ、(二)企業家ニ對シテ雇ハルルヲ拒ム場合ニハ勞動者ノ生産者トシテノ實力ヲ、又生産者及ビ商品ニ對シテ其ノ生産セル又ハ取扱フ貨物ハ一切購買セザル方法ヲ採ル場合ニハ勞動者ノ消費者トシテノ實力ヲ示サントスルバ―いこつとヤ(三)又彼ノ有名ナルさばた―ヂ Sabotage ノ方法ヤガ特筆ニ値スルモノデアル。

總同盟罷工ニ關シテハ吾人ハ曩ニ本誌上ニ於テ(第五卷第六號)詳論シタカラ茲ニハ更ニ加フ可キモノガナイ。而シテ此以外ニ於テハ彼ノさばた―ヂニ就キテ簡單ニ其ノ意義ヲ明カニスルヲ以テ茲ニハ暫ク足レリトシタイト思フ。

さばた―ヂのナルモノハ其ノ初メテ組織的ニ行ハレタルハ英國デアツテ“Ca Canny”(=go slow or be careful not to do much)ト呼バンタモノデアル。Ca Cannyトハ蘇格蘭ノ方言デ『徐々ニ歩ム』又ハ『のらくら遣る』ト云フガ如キ意味合ノモノデアル。然ルニ此ノ方法ガ所謂直接行動ノ一種トシテ佛蘭西ノさんちかりすとノ間ニ廣ク行ハルルニ至リテヨリハ、之ヲ佛蘭西語ニ於テ適當ナル言葉ニ云表ハスガ爲メニ苦心サレタル結果終ニ Sabot (木靴)ト云フ言葉ヲ劬カシテ Sabotageト爲シヤハリ徐々ニ歩ムト云フコトヨリ、故意ニ勞動ヲ徐々ニ行ヒ、又故意ニ勞動上ノ過失ヲ爲ス等ノ事ヲ意味シ更ニハ故意ニ道具機械器物ノ類ヲ損傷スルガ如キ類ノ事ヲ意味スルモ

ノトシタノデアル。<sup>3)</sup>

右ノ如キ意味合ノモノナレバ此ノ方法ハ個々ノ労働者ガ之ヲ爲スモノトシテ考フレバ古クヨリ行ハレ、工場労働者ナラズトモ一般ニ人ニ使ハルル者ハ下男下女ノ如キニ至ル迄之ヲ行フヲ知ルモノデアツテ譴責ニ對スル復讐又ハ腹癒セノ爲メニ彼等ガ之ヲ行フガ如キコトハ誰シモ能ク知ル所デアル。サレバ之レ決シテ新シキ方法ニアラザレトモ唯新シキ點ハソガ廣ク労働者ノ要求貫徹手段トシテ雇主ニ對シテ組織のニ行ハルルニ至ツタ點ニ存スル。而シテ此ノ方法ハ同盟罷工ノ如ク多數者ノ運命ヲ賭スルコトナクシテ少數者ニ依リテモ秘密ニ之ヲ行ヒ得ル點ニ於テさんちかりすことノ好ムデ之ヲ行フ所トナリ、然カモ其ノ行ハルルヤ、ソガ齎ス効果ニ於テハ多數労働者又ハ労働者一般ノ境遇改善ノ實ヲ擧グルヲ得ルモノトシテ推奨サルノデアル。

さばたーぢノ實行方法ニ至リテハ又種々ナルモノアリ、一々此所ニ之ヲ説クノ必要ハナイガ、(註)一般ニさばたーぢハ方法ト云ハンヨリハ寧ロ行爲ニ關スル一ノ原則ト見ルヲ以テ當レリトスルモノナルヲ知ラナケレバナラヌ。即チ之レ行爲ニ關スル一原則タルガ故ニ其ノ原則ニ叶ヒ主旨ニ合スル限リハ其ノ實行方法ニ至ツテハ洵ニ千差萬別タルヲ得、如何様ニモ新工夫ヲ凝シ新奇ノ方法ヲ行フコトガ出來ル次第デアル。而シテソハ暴行ヲ伴フコトガアリ又平和的ニ行ハルルコトガアリ、財産器物ノ破壊損傷ヲ伴フコトモアレバ、然ラザルコトモアリ、不法的ニ行ハルルコトモアレバ合法的ニ行ハルルコトモアリ、虚偽ヲ語ルコトニ依リテ行ハルル場合モアレバ、眞實

3) J. Spargo, *ibid.*, pp. 153-159

ヲ正直ニ白狀スルコトニ依リテ行ハルル場合モアル。

註 從來行ハレタル數クノ例ヲ上グレバ、鐵道労働者が取扱貨物ノ送先ヲ故意ニ混淆シテ貨物ヲ宙宇ニ迷ハシメタコトヤ、速達ヲ要スル貨物ノ輸送ニ際シ故意ニ之ヲ後ヲシメタコトヤ、税關ニ雇ハレタル者が一々化粧品類ノ包裝ヲ解ヒテ仕事ヲ拂ラシメズ又包裝ヲ取替フルノ必要ヲ生セシメタコトヤ、電氣設備アル工場ノ労働者が「スウギツチ」ニ「セメント」ヲ填充シタコトヤ、複雑ナル機械ノ極メテ重要ナル部分ヲ容易ニ補缺ノ行ヒ難キ部分ヲ隠匿又ハ破壊シタコトヤ、呉服店ノ用人ガ花嫁用ノ註文ノ白絹ニ「インキ」ノ小サキ汚點ヲ作ツタコトヤ、僞レル尺ヲ作りテ主人ノ爲メニ得意ヲ失ハシメシコトヤ、料理人ガ故意ニ腐敗セル鶏卵ヲ用ヒテ「オムレツ」ヲ造ツタコトヤ、料理店ノ給仕人ガ其店ノ料理番ハ甚シキ皮膚病ナリト來客ニ虚偽ノ報告ヲ爲シタコトヤ、惡キ品物ヲ高價ニ賣ル店ノ用人ガ來客ニ品物ノ惡クテ價高キコトヲ眞實ニ警告シタコトヤ實ニ牧擧ニ暇ナキ所デアル。

其ノ實行方法ノ如何ヲ問ハズばたゞハ労働者階級ノ徳性ヲ傷ケ其ノ道德標準ヲ低下セシムルモノデアツテ、労働者ノ階級トシテノ堅固ヲ毀損スルモノデアル。蓋シさばたゞハ労働者ノ集リガ集團トシテ公然ニ之ヲ行フモノニアラズシテ、少數ノ人々ガ秘密ニ之ヲ行フモノナルガ故ニ、ソノ實ニ耻ヅ可キ陰險性ヲ伴フヲ避ケ難ク、反動的ナル少數者ノ武器タルニ適スルカラデア。サレバ労働者階級ガ資本主階級ニ對シテ自己階級ノ解放ノ爲メニ之ヲ行ハントスルニ際シテハ、ヤカテ其ノ階級内ニ於テ階級ノ利益ニ對シテさばたゞハ行ハルルニ至ルコトトナリ、労働者ハ互ニ不信用トナツテ常ニ互ニ猜疑ノ眼ヲ以テ見ルコトトナリ、各人ハ労働者ノ階級トシテノ利益ノ爲メナラズシテ、只管自己ノ利益ノ爲メニ事ヲ行フニ至ル可キヤ明カデアル。ソレニ又中ニハ多クノ雇主ノ犬ノ來リ加ハリ、斯クテ労働者階級ハ全ク其ノ階級トシテノ堅固性ヲ失フコト



トナルヲ免レ難イノデアル。

又さばたーぢゅハ労働者ヲシテ其ノ業務ヲ怠リ其ノ技術ヲ退化セシメ、其ノ精神ヲ麻痺セシムルモノデアル。ソガ組織的ニ永ク行ハルル中ニハ、労働者ノ質ハ退化シ、労働者トシテモトシテモ甚ダ頼モシカラザル、少シモ油斷ノ出来ヌ陰險ナル者トナルヲ免レヌ。然ルニ今さんちかりずむハ労働者ヲ解放シ労働者ノ支配スル産業組織ヲ造リ出サントスルモノデアル。サルニ若シ此ノ將來ノ社會構成ノ材料タリ棟傾タル可キ労働者ガ斯ク劣惡ノモノト爲ルニ於テハ、實ニ之レ腐敗セル材料ヲ以テ建築ヲ爲サントスルモノデアツテ、將來ニ大イナル堅固ノ建築ヲ計畫シ乍ラ、先ヅ以テ其ノ材料ヲ腐敗セシムル方法ヲ探ルト云フハ、如何ニモ心得ヌ話デアル。サレバ所詮さばたーぢゅハ労働者解放ノ武器トシテハ不適當ナルモノデアル、建設的ノモノナラズシテ廢頽的ノモノデアル。元來さんちかりずむソレ自身ガ多少廢頽的ノ傾向ニ立ツモノデアルカラ、さんちかりずむガさばたーぢゅヲ受用スルハ不適合デハナイガ、然シさんちかりずむニ廢頽的臭氣ヲ添ヘルモノハ實ハさばたーぢゅノ如キモノヲ用ユルカラデアル。サレバさんちかりずむニシテ將來大ニ建設的ナル勢力タラント欲セバ必ズヤ此種ノ直接行動ハ之ヲ拋棄シ、寧ロ此種ノ陰險手段ノ行ハルルコトニ對シテ抗爭セナケレバナラス。要スルニさんちかりずむガ所謂さばたーぢゅノ靴ヲ穿ツ限リハさんちかりずむノ將來ハ闇黒デアル。之ヲ奉ズル労働者ハ呪ハレタル者トシテ自ラ敗滅ノ地獄ニ向ツテ急グモノタルニ外ナラヌノデアル。(終)